



## 令和元年9月 定例記者会見 № 2

令和元年10月1日  
担当：総合政策部総務課情報政策推進室  
24-2111内線220

### 業務効率化に向けて RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を10月から導入します

花巻市では、職員の生産性向上のための一つの手段としてRPAを導入します。RPAの導入検討に当たっては、令和元年6月より計8業務を対象に実証実験を行いました。その結果、全ての業務で作業時間の削減が確認できたことから、10月からRPAを導入することにしました。

自治体職員を取り巻く環境は転換期を迎えており、これまでと同じ働き方では、多様な行政ニーズへの対応が困難となってきています。RPAの活用により職員を単純・反復作業から解放し、職員でなければできないコア業務に注力できるような環境づくりを進めることにより、仕事の質と市民サービスの向上を目指します。

#### \*RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは

人が手作業で行ってきたデータ入力などの定型作業を、ソフトウェア上のロボットが事前に設定したルールに基づいて自動で処理する手法や概念。

### RPA実証実験結果

#### ○実証実験概要

【実施期間】令和元年6月1日～9月20日

#### 【対象業務】

- ・パソコン管理システムへのパソコン異動情報の登録業務（総務課）
- ・空間放射線量測定結果のホームページ更新業務（防災危機管理課）
- ・住民情報システムへの償却資産申告書の登録業務（資産税課）
- ・職員の給与控除に係る伝票作成業務（人事課）
- ・公共無線LANの利用実績集計業務（秘書政策課）
- ・住民異動者リストの作成業務（地域福祉課）
- ・中期プラン策定に係る事業検討用エクセルシートのデータ連結作業（秘書政策課）
- ・行政評価事務に係る政策評価用エクセルシートのPDF化（秘書政策課）

#### 【実証実験の進め方】

- ①情報政策推進室が各課から業務内容のヒアリングを行い、業務内容・作業手順を整理
- ②情報政策推進室にてRPAによる処理ルール（シナリオ）の作成
- ③各課と処理手順および実行結果の確認

#### ○実証結果

No	業務名	現状処理時間 (1回の作業時間)	RPA導入後 処理時間	削減率
1-1	パソコン異動情報の登録業務（新規端末登録）	15時間	2時間	約86%
1-2	パソコン異動情報の登録業務（廃棄端末削除）	1時間5分	3分30秒	約94%
2	空間放射量測定結果のホームページ更新業務	10分	5分30秒※1	約45%
3	住民情報システムへの償却資産申告書の登録業務	58時間（想定）※2	12時間（見込）※2	約79%
4	給与控除に係る伝票作成業務	3時間（想定）※2	約35分（見込）※2	約80%
5	公共無線LANの利用実績集計	約20分	3分	約85%
6	住民異動者リストの作成業務	約1時間50分	40分	約63%
7	中期プラン策定に係る事業検討用エクセルシートの特定行マージ作業	約4時間	9分	約96%
8	行政評価事務に係る政策評価用エクセルシートのPDF化	約17時間	3時間55分	約77%

※1：実証実験期間では全ての処理を実現できず、一部処理のみをRPAで実現。更なる削減を見込むことができる。

※2：1件当たりのRPAによる処理時間を算出し、想定される件数で処理時間を計算したもの。

### RPA導入後の予定

本実証実験でRPAの有効性が確認されたことから、まずは上記8業務からRPAを導入し、今後、さらなる対象業務の拡大を図ります。RPA対象業務拡大に向けてはRPAに対する職員の理解を深める必要があることから、9月にRPAの実証実験結果及び今後の体制づくりについて職員に対し説明会を2回開催しました。今後は、RPAツール利用に関するガイドラインを作成するとともに、操作スキル向上のための研修会を開催し、各課の職員がより主体的にRPAを活用する体制を整えます。